# 第15号様式(第37条関係) ※500 t 以上1,000 t 未満の様式

(第1面)

# 産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 15日

甲府市長

殿

提出者 名工建設株式会社静岡支店

住 所 静岡県静岡市駿河区南町6-1

氏 名 名工建設株式会社静岡支店 執行役員支店長 樋口 潔

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 054-283-3899

山梨県生活環境の保全に関する条例第62条第1項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	名工建設株式会社 静岡支店 (甲府市内作業所分)
事業場の所在地	静岡県静岡市駿河区南町6-1
計画期間	令和7年4月1日~令和8年3月31日

# 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

- ① 事業の種類総合工事業
- ② 事業の規模148億
- ③ 従 業 員 数 185人
- ④ 産業廃棄物の 一連の処理の工程

別紙

産業	   	 5管理体制		( <del>为 2</del> 5事項	2 四/	
//	(管理体制図)	<u> </u>	(-),,,			
	別紙参照					
産業	<b>養廃棄物の排出の抑制</b>	訓に関する	事項			
		【前年度	(	6 年度		
		产 業 痰	棄物の	<b></b>	別紙参照	
		生 未 光	来物の	1里 枳	ンゴルベシスペ	
		排	出	量	t	t
	①現状	(これま)	でに実施	<u></u> 可した耶	·	<u> </u>
						発生の抑制、削減する為
		の施工方	法等を検	討して	いる。	
		【目標】				
		産業廃	棄物の	種類	別紙参照	
		排	出	量	t	t
	②計画	(今後実	施する子	定の取	7組)	
						副産物発生の抑制、削減
		する為の	他上力没	式等を検	診計し水平展開する。	
産業	<b>産廃棄物の分別に関す</b>	トる事項				
					E物の種類及び分別に関	
	①現状				Yめ分別排出の指導、点検 を利用1 廃棄物の種類ごり	を行っている. :に看板等で明示し管理、指
		導する。	, 100	777 च	と作用した来物が経験こと	に有似みで別がし自在、旧
		(今後分別	リする予?	定の産	業廃棄物の種類及び分別	川に関する取組)
	②計画				指導、点検を定期的に実	
		・産廃BOX 実施する。		ック等を	ど利用し廃棄物の種類ごと	:に管理されているか点検を

自身	っ行う産業廃棄物の再	<b>再生利用に関する事項</b>		
		【前年度( 6年度	) 実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙参照	
		自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	①現状	(これまでに実施した取		-
		・自ら再生利用は行って	いない。	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙参照	
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取	 :組)	
		・自ら再生利用を行う計	·画はない。	
白色	<u> </u> 六行ら産業盛棄物の口	 中間処理に関する事項	_	_
-		【前年度(6年度		
		産業廃棄物の種類	別紙参照	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
		(これまでに実施した取	組)	-
		・特になし		
		【目標】		1
		産業廃棄物の種類	別紙参照	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
		(今後実施する予定の取	:組)	
		・特になし		

自身	っ行う産業廃棄物の埋	世立処分又は海洋投入処分に関する事項	
		【前年度(6年度)実績】	
		産業廃棄物の種類 別紙参照	
	(A.11)	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t
	①現状	(これまでに実施した取組) ・これまで自社で埋立処分、海洋投入処分を実施したことはない	, <b>\</b> <sub>0</sub>
		【目標】	
		産業廃棄物の種類別紙参照	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う t 産業廃棄物の量	t
	②計画	(今後実施する予定の取組)	
		・これまで自社で埋立処分、海洋投入処分を実施したことはない 	, <b>\</b> _0
产当	l É廃棄物の処理の委割	 - に関する車項	
/ <del>*</del> /*	一	【前年度(6年度)実績】	
		産業廃棄物の種類別紙参照	
		全 処 理 委 託 量 t	t
		優良認定処理業者への 処理 委託 量 t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量 t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
		(これまでに実施した取組) ・特になし	

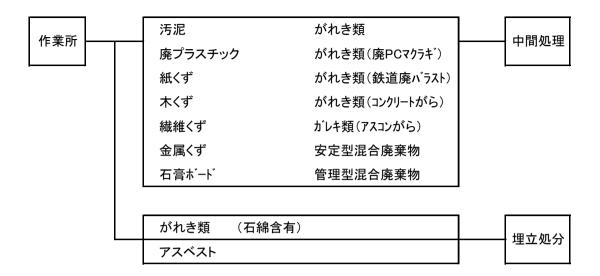
(第5面)

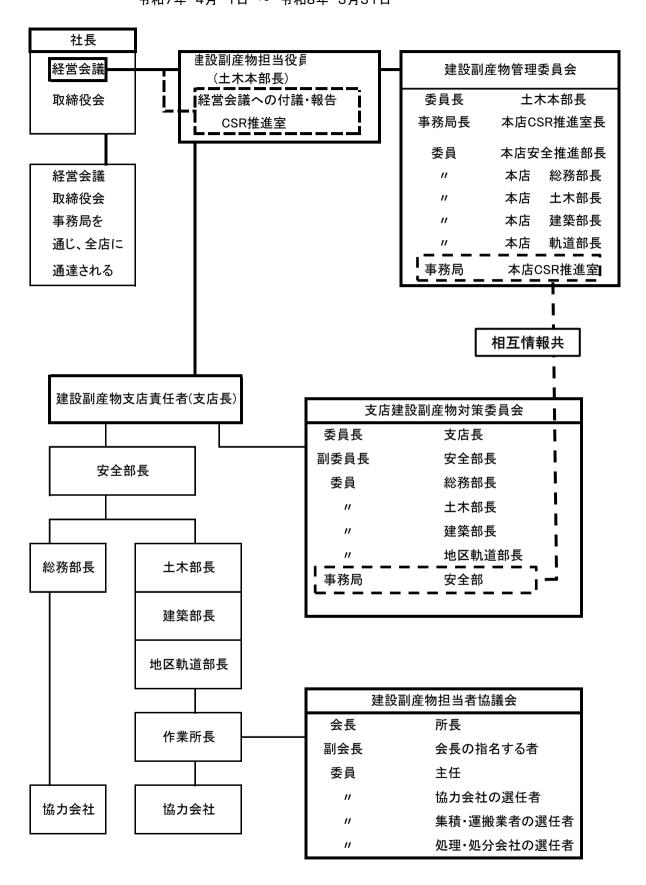
		0 囲/	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理 委託 量		t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処理 委託 量		t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		放組) 二努め、優良認定等処理業 「サイクル率向上を図る。	<b>達者の実態把握の上、再</b>
※事務処理欄			

## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ 事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 別紙(第1面-④) (産業廃棄物の一連の処理の工程)





## 様式第二号の八(第八条の四の五関係)別紙-2

#### (第2面)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度(6年度)実績	績】																
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プ <sup>°</sup> ラスチッ ク	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	がラス陶磁 器くず	石膏ボード	がれき類	がれき類 (廃PCマク ラギ)	がれき類 (鉄道廃パ ラスト)	がれき類 (コンがら)	がれき類 (アスコンが ら)	安定型混 廃	発	石綿含有 (がれき 類)	合計
	排出量		2.62t	0t	130.88t	0t	0t			0t	33.1t	483.8t		20.25t		2.6t		673.25t
	【目標】																	
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチッ ク	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁 器くず	石膏ボード	がれき類	がれき類 (廃PCマク ラギ)	がれき類 (鉄道廃パ ラスト)	がれき類 (コンがら)	がれき類 (アスコンが ら)	安定型混 廃	管理型混 廃	石綿含有 (がれき 類)	合計
	排出量		2t	0.1t	130t	0.1t	0t			0t	30t	480t		20t		2t		664.2t

#### (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	21430314 133 - 2 1 3 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	, . , ,														
	【前年度(6年度)実統															
①現状	産業廃棄物の種類	該当無し														
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	該当無し														
	【目標】															
②計画	産業廃棄物の種類	該当無し														
€/BI⊞	自ら再生利用を行う産 業廃棄物の量	該当無し														

#### 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度(6年度)実績	ŧ]						
	産業廃棄物の種類	該当無し						
①現状	自ら熱回収を行った産 業廃棄物の量	該当無し						
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	該当無し						
	【目標】							
	産業廃棄物の種類	該当無し						
	自ら熱回収を行う産業 廃棄物の量	該当無し						
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	該当無し						

#### (第4·5面)

#### 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	【前年度(6年度)実績	ŧ]						
	産業廃棄物の種類	該当無し						
①現状	自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った産業廃棄 物の量	該当無し						
	【目標】							
@=I T	産業廃棄物の種類	該当無し						
2計画	自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行う産業廃棄物 の量	該当無し						

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度(6年度)実統	責】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチッ ク	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	がラス陶磁 器くず	石膏ボード	がれき類	がれき類 (廃PCマク ラギ)	がれき類 (鉄道廃パ ラスト)	かれさ短	がれき類 (アスコンが ら)	安定型混 廃	管理型混 廃	石綿含有 (がれき 類)	合計
	全処理委託量		2.62t	0t	130.88t	0t	0t			0t	33.1t	483.8t		20.25t		2.6t		673.25t
①現状	優良認定処理業者へ の処理委託量	t	2.62t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	2.6t	0t	5.22t
U-57.1A	再生利用業者への 処理委託量	t	. Ot	0t	0t	0t	0t	t	t	0t	33.1t	483.8t	0t	20.25t	0t	0t	0t	537.15t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	Ot.	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への 処理委託量	0t	. Ot	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

(第5面)																		
	[目標]																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチッ ク	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁 器くず	石膏ポード	がれき類	(廃PCマケ	がれき類 (鉄道廃パ ラスト)	かれる規	がれき類 (アスコンが ら)	安定型混 廃	管理型混 廃	石綿含有 (がれき 類)	合計
	全処理委託量		2t	0.1t	130t	0.1t	0t			0t	30t	480t		20t		2t		664.2t
②計画	優良認定処理業者へ の処理委託量	t	2t	0.1t	0t	0.1t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	2t	0t	4.2t
(Z)	再生利用業者への 処理委託量	t	0t	0.1t	0t	0.1t	0t	0t	0t	0t	30t	480t	0t	20t	0t	0t	0t	530.2t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への 処理委託量	0t	0t	. Ot	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t